

平成30年度第4回白河市行政改革推進委員会会議録（要旨）

日 時	平成30年11月30日（金） 午後4時00分～午後5時30分
場 所	鹿島ガーデンヴィラ
出席者	委員7名 和知裕幸委員長、入谷みちこ委員長職務代理者、芳賀幸子委員、鈴木長一委員、市川淳一委員、小磯厚子委員、三浦徹委員
欠席者	
白河市 （事務局）	3名 常松喜彦参事兼経営改革推進室長、鈴木卓雄経営改革推進室主幹兼室長補佐兼係長、坂上克之主査
公開状況	公開（傍聴者なし）
<p>16時00分（開会）</p> <p>1. 開会あいさつ</p> <p>2. 議事</p> <p>議事1. 担当課ヒアリング結果の総括について</p> <p>①学校施設の今後の整備方針について</p> <p>（事務局説明）</p> <p>委員）施設の整備予定は理解した。施設を統廃合した場合の跡地の利用については、どのように考えているのか。</p> <p>市）市では財産処分も含め、有効に活用したいと考えている。例えば、民間に貸付を行い、福祉等に利用している例もあるが、維持管理費に対して採算がとれないようであれば、売却することも当然考える。</p> <p>委員）施設の有効活用を検討する際にアイデアを公募するとよい。</p> <p>委員）公募する際には、具体的に維持管理費がどのくらいかかっているかを把握し、予算を決めて公募しなければならない。</p> <p>②防災無線について</p> <p>（事務局説明）</p> <p>委員）説明を受けて、Jアラートの環境が改善されていると聞いて安心した。現在のアナログ環境から新たな設備に変更するということであったが、できるだけ早く整備して欲しい。</p>	

### ③利用が少ない施設の整理について

(事務局説明)

委員) ①の項目と同様になるが、アイデアを公募してみるとよい。

委員) 市民で活用する目的にするのか、外部から人を呼ぶ目的にするのかをカルテを整理して判断する必要がある。

市) 合併した関係で、旧1市3村で同じ目的の施設が多くあり、その中でどうしても利用が少ない施設が出てきてしまい、維持管理費の問題もあるため、統廃合の検討が必要になる。

委員) そういった際には、とりあえず廃止で検討してみるというスタンスではダメで、廃止するものは廃止するといった判断をしていかないといけない。

委員) 市民に対しての説明は、地域活性化協議会に諮ってはどうか。市民のニーズを踏まえることは重要であり、数年かけてやらなくてはならないことだと思う。

### ④市税滞納者への対応状況について、奨学金貸付の返済の状況について

(事務局説明)

委員) 説明を聞いてしっかりやっていることが分かった。収納率が高い一番の要因は何か。

市) どうしても徴収できなかった場合の預金等の差押えである。

委員) 収納率 99.3% (現年度) はすごい数字であるため、継続して取組んでいただきたい。

### ⑤組織機構の見直し

(事務局説明)

委員) 通常、会社では課をできるだけ少なくすることを考え、必要最低限の人数とするため、他の担当業務を兼務できるようにする。

委員) 人数をどう活かすか大事である。配置された人数でどうやるのかではなく、必要な部署に必要な人数を配置する必要がある。縦割りではなく、できるだけ横のつながりを持てるようにするべきである。

委員) 説明でもあったように、収入とのバランスや繁忙期等の異動に配慮するとよい。

委員) 残業時間を減らすための具体的アクションプランも検討してもらいたい。

⑥職員研修の実施（メンタルヘルス、接遇）

（事務局説明）

委員）産業医のサポート体制をもっと充実させてはどうか。例えば、相談は無料でできて、医療行為が必要になった場合は自己負担とする等、相談しやすい環境をつくってはどうか。

市）現状でもそのような体制になっており、相談できる環境にはなっている。

委員）心を鍛えるという趣旨の研修はないのか。ストレスは必ず発生してしまうので、どう対応するかのほうが重要だと考える。

市）メンタルヘルスとは別な機会で公務員として心構えや、管理職になれば部下との関わり方の研修を受けている。

議事2. 来年度の予定について

（事務局説明）

（質問なし）

4. 閉会

（17時30分）